



## まちの南北を結んだ 蒲郡駅地下道

日々多くの乗降客を迎える駅は、まちの玄関口であり、時代ごとにその様相も変わっていきます。

市制施行されて間もない昭和30年代の蒲郡駅は線路を挟んで南北に別れており、北駅の駅舎は趣がある木造建築でした。

昭和33年に駅前広場の造成が始まり、昭和36年からは蒲郡駅前区画整理事業も並行して進められ、昭和40年代に着々と整備が進みま

- 駅前ビル(昭和41年4月)
- 名店街ビル(同年11月)
- 駅前地下道(第一期/駅前ビル・駅前広場歩道)・地下街(昭和42年6月)
- 駅前広場(同年12月)
- 国鉄蒲郡駅新駅舎(昭和44年1月仮使用開始)

- 駅前地下道(第二期/新駅舎まで延長)(同年4月)
  - 名鉄蒲郡線高架化(昭和47年4月)
  - 蒲郡駅南北地下道(同年7月)
  - 名鉄蒲郡駅ビルとバスターミナル(同年10月)
- 3回にわたる地下道の整備により、蒲郡駅前の南北往来は、踏切まで迂回しなくてはすむようになりました。
- 平成20年に鉄道高架化事業が完了し、現在の蒲郡駅はコンコースを通ってより楽に行き来することができます。



蒲郡駅 南北地下道開通式(昭和47年7月16日)  
この時開通した部分は、鉄道高架化事業完了に伴い閉鎖されました。



## ようこそ!

### 「おしゃべり☆かがくかん」

この春から生命の海科学館で開催している「おしゃべり☆かがくかん」を紹介いたします。市民の方から寄贈していただいた標本を使ったこの企画は、美しい鉱物や貴重な化石といったさまざまな標本におしゃべりをしながら楽しく触っていたくというものです。今までのテーマは「水晶」「ガーネット」など。実は、水晶やガーネットは三河の大地でも育まれている、とても身近な宝石たちです。

ガーネットは、日本語の名前は「ざくろ石」と呼ばれています。名前のとおり、ざくろの粒のように赤く、ころんとした形の結晶で、とても美しい石です。ガーネットには、色々な種類があります。最もよく見られるのは、「鉄ばんざくろ石」と言って、鉄原子などでできている赤いガーネットです。鉄ではなくマンガンという別の成分でできている「満ばんざくろ石」は、鉄ばんざくろ石よりも少し茶色くオレンジ色をしています。他にもさまざまな種類のガーネットがあります。

蒲郡では、小学校の校庭の砂や、公園の砂などから赤いガーネットの小さな粒が見つかることがありますよ。



水晶やガーネットの他にも「光る石!ホタル石」などのテーマを予定しています。『光る』繋がりで!6月3日(土)から3階展示室で光るワンピースを扱ったミニ企画展も始まります。ぜひ、科学館に遊びに来てください。